

三加和  
中学校  
学校たより

# 磨き合う



10限目  
9月2日(金)

たかが宿題... されど宿題...

## 提出物の必要性って...

長い夏休みがおわりました。各ご家庭でのお子様の様子はいかがでしたでしょうか？この時期になると、サガエさんでも、ちびまる子ちゃんでも、夏休みの宿題に直われるカツオやまる子の悪戦苦闘する様子が放映されます。11月の時分になっても、これは変わらないのでしょうか。ただ、最近変わってきているなと感じるのは、**宿題をなんとか間に合わせようという意識を持つ生徒が増えてきている**ということです。昔は、友人のを写させてもらったりもらった答えを書き写したりして、何の勉強にもならない状態でも、**とりあえず間に合わせる**生徒がいたのですが、今は、それすらしない生徒が増えてきているように思います。問題が難しくすぎて解けなかった、とか、作文の文章構成が納得いかず遅くなった、というのならまだわかります。でも漢字ドリルの宿題は、薄く書いてある文字をなぞって、その下に2回練習する、とか、社会は、用語をプリントに反復して書く、というような単純作業です。もちろん暗記するまでくり返し書いて提出というのなら、大変でしょうか。規定の量を練習して出す、というのは、もはや**学力**というより**努力**です。せめて、そのような課題だけでも出せるはずではないか？

将来就職して、勉強ができないから、という理由で会社をやめさせられることはないでしょう。でも、契約のメモリーを守らなかった、となれば大問題です！！社会に出て生き残っていかせんと、宿題提出日に、宿題を何もせず、失礼で学校に来た人は、社会人で言うと、約束していた仕事の企画書ができませんでした、と取引先にあいつに行きようなもんです。当然相手は、「何しにまたんだ！！」と取引を打ち切られますよね。そんな人じゃ自分自身が困ります。だから先生たちは、口うるさく「提出物は主人と出しなさい」、「嫌なことでも、せなものはせなとたし」と言うんですよ。...とここまで言うとも、「大人にならちんとするし」とか「社会人にならできるもん」と言いができます。そういう私もそう言いましたし、教員になってすぐのころは、そう思っていたので、あまりきびしく言いませんでした。しかし、そうではない人ですわ、実際。この**思春期の時に、自律心や忍耐力**というものは、身につけておかないと後からじゃダメなんです。これまで3000人をこえる卒業生をみましたが、かなりの高確率で、中学で身につかなかった人は大人になってもダメでした。だから、この後、どうなっていくのかがわかるので、先生たちはしつこく言うんです。「今さえよければ...」という考えの代償は**とても高く大きいんです！！**思春期の今、自分を甘やかさずに自分を磨いてほしいと思います。

夏休み明けの集会では、生徒たちにこのような話をしました。学校だけではどうしても身につかせないので、各ご家庭でも、同じ歩調で話題にしてもらいたさと思います。どうかご協力。

返信よろしく  
お願いします！



お子様の宿題おかわり（返信用QRコード）



（ ）年（ ）月10限目